

3 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和8年3月10日（火）
- 2 開 催 場 所 加古川市役所 新館9階191会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、小林委員、中山委員
- 4 出席した職員 鹿間教育総務部長、松尾教育指導部長、
鷹津教育総務部次長、藤原教育指導部次長、
尾崎教育指導部学校教育担当参事、
井上教育指導部活動地域展開推進担当参事、
今津教育指導部教育支援推進担当参事、
真鍋教育指導部ダイバーシティ教育推進担当参事、
福本教育総務課長、大崎学務課長、横田学校施設課長、
岡本社会教育課長、岡本学校教育課長、岡本教育支援課長、
中倉中央図書館長、坂本文化財調査研究センター所長、
石坂少年自然の家所長
宮本文化財調査研究センター副所長、
窪田教育総務課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後2時55分
- 会議録署名委員指名のこと
中山委員に決定
- 2月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
2月定例教育委員会について、承認
- 会議公開の可否決定のこと
報告事項1「市内義務教育学校で発生した重大事態に関する市長報告について」及
び、報告事項2「市内中学校で発生した重大事態に関する市長報告について」は、非公
開とすることに決定

(協議事項)

- 1 令和7年度3月補正予算に係る意見について
(教育総務部次長から説明)
原案可決

- 2 令和8年度当初予算に係る意見について
(教育総務部次長から説明)
原案可決

教 育 長 : 小学校のメンタルサポーターを増員することだが、令和8年度では全小学校配置には至らない。県はメンタルサポーターの全小学校配置を予算化したようだが、加古川市の考え方はどうか。

事 務 局 : 加古川市は令和4年度より段階的に小学校にメンタルサポーターを配置している。県は1日4時間のメンタルサポーターを全校配置する動きであるが、加古川市は1日7時間で配置を進めている。学校によっては不登校児童数が少ないことから必要性が低い場合があり、複数校を1名のメンタルサポーターが巡回することも考えている。

令和8年度に全小学校配置とはならないが、令和9年度に全ての小学校に配置する計画で事業を進めている。

教 育 長 : 特別支援学校に在籍する医療的ケア児が利用できるタクシーの拡充について、どのような効果が見込まれるか。

事 務 局 : 現在1日1台のタクシーが運行しており、乗車できる医療的ケア児は1名で、月に1～2回しか利用できない状況である。

来年度より、台数は2台に、乗車人数が2名となることで、実質4倍利用できるように拡充する。

委 員 : 小学校の給食費無償化は保護者の注目も高いと思う。

- 3 加古川市登録有形文化財の登録について
(教育指導部次長から説明)
原案可決

- 4 令和8年度 加古川市立学校教職員研究・研修計画について
(教育指導部参事から説明)
原案可決

教 育 長 : 最近は初任者が増えてきている。1～5年目までの研修も設けられているが、日々の教職に取り組む中での相談体制はどうか。

事 務 局 : 県の教育委員会と連携し、年齢の近い先輩教員が初任者と情報共有

を図るメンター制度や、拠点校指導教員が中心となって初任者を支える仕組みづくりを進めている。

また、加古川市は年に3日の初任者研修を実施しているが、そこで市の指導主事に関わり、日々の悩みを聞き取り、学校へ還元する取組を行っている。

ステージに応じた初任者研修を行い、授業で力を発揮できるようサポートしていきたい。

5 加古川市学校運営協議会の解散について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

教育長： 浜の宮幼稚園と尾上幼稚園はこども園化が検討されているが、運営協議会の解散後、こども園になるまでの間はどうか。

事務局： 幼稚園の評議員制度を活用することとなる。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

4月16日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和7年度学校保健講演会について

2月26日(木)に医師会が開催した学校保健講演会で平田オリザ氏の講演「わかりあえないことから」を聴講した。意思疎通を図るために丁寧な対応をすることで、お互いの理解を深めるという素晴らしい内容だった。

○ 教育委員諸報告

[中山委員から]

(1) 令和7年度学校保健講演会について

2月26日(木)に医師会が学校保健講演会を開催し、平田オリザ氏に「わかりあえないことから」というご講演をいただいた。

ご自身の著書「わかりあえないことから」より、コミュニケーションのお話しをしていただいた。

(2) 第74回近畿医師会学校医研究協議会について

2月15日(日)に和歌山県で開催された第74回近畿医師会学校医研究協議会に参加した。近畿6府県がそれぞれの発表をしたが、滋賀県医師会の発表は「学校検診を考える」というものだった。内科検診の脊柱側弯検診の50%強が着衣で実施しているが、この検診を着衣で行うと正しく検査するのが難しく、実施する検診医も「これではきちんとわからない、実施する意味があるのか。」というジレンマを抱えているという内容だった。

兵庫県医師会の発表は「眼科医から見た学校検診の諸問題」というもので、眼科医がいない地域では幼稚園・小学校の眼科検診を内科医が行うケースがあり、

眼科医が少ない地域では1人の眼科医が非常に多数の学校園の検診を担当しなければならない課題があるという内容だった。

加古川市はありがたいことに、眼科医や耳鼻科医が検診を行っている。

(3) 兵庫県郡市医師会学校保健担当役員連絡協議会について

3月7日(土)に開催された兵庫県郡市医師会学校保健担当役員連絡協議会に参加した。

県の学校保健会と教育委員会で学校の内科検診について、その意義や内容を伝えるために学務課が冊子を作っている。その中でこれまでは大阪府医師会の動画とリンクしていたが、この度、県の啓発動画が完成したので、今後はその動画を用いて保護者への周知を図っていく。

(4) 学校医の報酬改定について

人事院勧告を受けて県が学校医報酬を改定している。加古川市の学校医報酬は県の改定後、1年後に後追いで改定していると思う。学校医のなり手がないうちで、報酬だけで判断されるわけではないが、人事院勧告に合わせて加古川市も出来るだけ速やかに対応してもらいたい。

[小林委員から]

(1) こどもの九九の教材について

私のこどもが九九の勉強に取り組んでいる。算数の宿題はオンラインのものが多く、ゲーム形式で大人から見ても楽しく勉強できそう。筆算が始まる10歳に算数についていけないこどももいると聞いている。最近の楽しく勉強に取り組めるところに時代の流れと魅力を感じている

○ 教育総務部長諸報告

(1) 就学援助(入学準備金)の申請受付について

就学援助(入学準備金)の申請受付状況について報告した。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 加古川市学校運営協議会の設置及び運営に関する要綱の改正について

加古川市学校運営協議会の設置及び運営に関する要綱の改正内容について報告した。

(2) 第18回加古川教育フォーラム、家庭教育講演会、PTCA活動支援事業研究大会アンケートのまとめについて

2月21日(土)に開催された第18回加古川教育フォーラム、家庭教育講演会、PTCA活動支援事業研究大会の参加者アンケートの結果を報告した

以上、2件について報告

○ 閉 会 午後4時40分